

地域の皆様とのかかわり

リケンテクノスグループでは、地域社会との共生のために様々な取り組みを行い、事業活動へのご理解をいただいております。国内と海外での取り組みについてその一部をご紹介します。

国内での取り組み

環境への取り組み

埼玉工場



埼玉工場では、岡部駅までの線路沿いごみ拾い(年2回)と、工場周辺ごみ拾い(月1回)を行っています。

本社



本社のあるワテラストワー周辺を綺麗にするため、千代田区一斉清掃に参加しました。

子ども神輿

三重工場



榑野町の子ども神輿で、元気な子どもたちと交流を図りました。

埼玉工場




地元の自治会から埼玉工場に元気な子ども神輿がやってきました。

2019年4月～

4月 5月 6月 7月 8月 9月

献血実施 埼玉工場



赤十字血液センターによる献血を実施しました。

普通救命講習 埼玉工場



埼玉工場では深谷市消防本部から講師を招き、普通救命講習を受講しました。AEDや人形を使って心肺蘇生法などを学びました。

貢献

次世代

交流

環境

子ども神輿

亀山市納涼大会への協賛および参加

三重工場



旧亀山町時代から続く亀山市納涼大会へ企業の部として参加し、みたらし団子とリケンファブロのラップを販売しました。



インターンシップ

未来を担う高校生のために職場体験・インターンシップを積極的に実施しています。埼玉工場・三重工場ともにフィルムの製造工程、および設備保全の実習などを体験していただきました。

埼玉工場



地元の岡部中学校より3名の生徒が職場体験に来てくれました。食品包材製造課で製造のお手伝いをしました。



熊谷工業高校の生徒2名がインターンシップに来てくれました。

三重工場



亀山中学校から元気いっぱいな2名の生徒さんがインターンシップとして来てくれました。



亀山高校から1名、5日間の職場体験に来てくれました。



ライトダウン・みえ2019

三重工場

三重県が推進する地球温暖化防止活動「ライトダウン・みえ」に参加しました。不要な照明を消す、定時退社を推進するなどし、省エネ・節電活動に取り組みました。

2020年

10月

11月

12月

1月

2月

3月



駅伝・マラソン大会

三重工場



亀山市駅伝大会への協賛および参加を行いました。事業所部門では優勝することができました。



地域の皆様との共存による 埼玉工場50周年記念

埼玉工場



2019年に埼玉工場が操業50周年を迎え、OB出演の動画撮影、プロジェクトメンバーによる年表作成、食堂特別メニュー、ボーリング大会などを行いました。埼玉工場は今後も地域に密着した工場であり続けます。

● 海外での取り組み

海外での取り組みとして、米国のRIKEN ELASTOMERS CORPORATION、タイ国のRIKEN(THAILAND)CO., LTD.、そしてインドネシア国のPT. RIKEN INDONESIAの取り組みをご紹介します。

役員メッセージ



リケンテクノス株式会社 執行役員
RIKEN AMERICAS CORPORATION 取締役社長 兼
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION 取締役社長
やまなか たかし
山仲 稔美

2020年は世界中で新型コロナウイルスの問題に直面し各方面で当初の計画の数々が白紙や延期になっています。さらに人種差別の問題による各地での暴徒化したデモなども大きな社会問題になりました。

私たちがSDGs(持続可能な開発目標)を実現するために計画していた事が合衆国、各州などの行政命令により実現できなくなりました。経済活動を徐々に再開しようとしている今、私たちはまず、地域の清掃活動から再スタートをすることにしました。

経済格差や人種問題など一企業の活動では解決できない難問です。これらを新型コロナウイルスがあらためて世界に問い直したと考えています。この難問の解決に私たちは教育が重要な一つと捉えており、地域社会で子供たちへ日本の文化(異文化)を教える活動や寄付活動を継続し周辺地域との社会価値と経済価値を共に創造していくことを目指しています。

● RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONの取り組み

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONでは、社員が様々な活動を通じて、地域社会に貢献しています。

Boys and Girls Club

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONはBoys and Girls Clubを応援しています。Boys and Girls Clubでは、子供たちが遊びながら学べる様々なプログラムがあり、同世代だけでなく大人とも積極的に交流を図ることで、よりよい信頼関係を築く手助けをしています。2019年7月24日、RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONは、Boys and Girls Clubの昼食会に参加しました。



写真左からジェラルドベネットさん、Boys and Girls Clubのメンバー、セドリックウィンダムさん

ペンブローク小学校での教育サポート

RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONはペンブローク小学校とともに教育メンバーとして、年に1度の進路相談会に参加し、先生および生徒をサポートしています。

2019年12月、RIKEN ELASTOMERS CORPORATIONはPBIS(ポジティブな行動介入と支援)のイベントに遊具を提供しました。

PBISとは、行動分析学の教育実践研究に基づき、学校環境を整備して、子供たちの望ましい行動を増やすことで、問題行動を防止するプログラムです。PBISは、学校環境を考慮しながら、データと理論に基づいた段階的なシステムで構築されています。子供たちの創造性に注目し、第1層(学校全体)、第2層(教室)、第3層(個人)の3層に分けて、子供たちの全人的な成長をサポートしていきます。



写真左から、クリスティ・ウィンさん、ハンター・スマイリーさん、バーバラ・メリウエザーさん(ペンブローク小学校スクールカウンセラー)、ローレン・ジェフコートさん、スタシー・ワッツさん

代表メッセージ



RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 取締役社長
田村 昭裕

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. では、社員の子供たちの勉強推進および少収入社員の支援を図り、1 名につき 5,000 バーツの奨学金を授与しています。2019 年度は小学生 10 名、中学生 3 名の合計 13 名に授与しました。また、RIKEN (THAILAND) CO., LTD. では、2019 年 7 月に、創立 30 周年を迎えました。30 年の間には様々な困難もありましたが、株主様、お客様、地域住民の方々のご支援、ご協力と社員のたゆまざる努力の賜物と深く感謝いたします。

今後も高い品質と安全性の高い製品を供給していくために、社員一丸となって努力し、地域社会に貢献してまいります。

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. の取り組み

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. では、社員の子供たちの勉強推進および少収入社員の支援を図り、奨学金制度を設けています。



RIKEN (THAILAND) CO., LTD. の 2019 年度奨学金を受けた皆さん

奨学金を受けた子供たち



メータースイット
ブンシューウィット くん
(Master Tamonwan Bunchart)



小学
2 年生

一般用製造員 テパヒット ブンシューウィットさん
(Mr. Tepahsit Boonchuwit) のお子さん

スパワット
パーンサムデアン くん
(Master Supawat Pansamdeang)



小学
3 年生

一般用製造員 サターポン パーンサムデアンさん
(Mr. Sathaporn Pansamdeang) のお子さん

カンタウィット
ワバンラン くん
(Master Kantawit Wabanlang)



小学
1 年生

医療用製造員 ワチャラ ワバンランさん
(Mr. Watchara Wabanlang) のお子さん

カンタポン
トアンヒランヤチョート くん
(Master Kantaphong Tuanghiranchot)



小学
1 年生

技術係員 ナティワン トアンヒランヤチョートさん
(Ms. Nattawan Taunghiranchot) のお子さん

パタラワディー
スイームアン ちゃん
(Miss Pattarawadee Srimuang)



小学
2 年生

医療用製造員 プンポン スイームアンさん
(Mr. Poonphon Srimuang) のお子さん

サクソウィット
シラパワONG くん
(Master Saksit Sinlapawong)



小学
4 年生

医療用製造員 ラメット シラパワONGさん
(Mr. Ramet Sinlapawong) のお子さん

タナグリット
チュイサラオ くん
(Master Thanakrit Chueysalao)



小学
4 年生

医療用製造員 タナポン チュイサラオさん
(Mr. Nattapong Chueysalao) のお子さん

パタラポー
プッパーチャット ちゃん
(Miss Pattaraporn Bupphachat)



小学
5 年生

医療用製造員 サートイット パーントンさん
(Mr. Sarith Panthong) のお子さん

ヌンリタイ
コンチャング ちゃん
(Miss Nuengruethai Kongchang)



小学
6 年生

一般用製造員 エカラク コンチャングさん
(Mr. Ekalak Kongchang) のお子さん

スピチャヤー
ブットペット ちゃん
(Miss Supichaya Butpetch)



小学
6 年生

総務係員 サポット キアングカオさん
(Mr. Sapot Kiangkao) のお子さん

ララナー
カムピット ちゃん
(Miss Lalana Kampichit)



中学
1 年生

物流係員 ウィチャイ カムピットさん
(Mr. Wichai Kampichit) のお子さん

ティティマー
ミーウサー ちゃん
(Miss Thitima Meeusa)



中学
2 年生

QA 係員 プワドン ミーウサーさん
(Mr. Poowadon Meeusa) のお子さん

ジラコン
ルアツカムイー くん
(Master Jirakorn Ruekkamyee)



中学
3 年生

物流係員 キリティアコンルアツカムイーさん
(Ms. Krittiyakorn Ruekkamyee) のお子さん

地域の皆様とのかかわり



奨学金を授与した子どもたちからお礼の手紙をもらいましたので、ご紹介いたします。(現地社員による日本語訳)

スパワット パーンサムデアンさん

私は・パーンサムデアングと申します。現在、パトゥムターニー県、パンプロク市、アナバーン・パトゥムターニー学校で3年生、勉強しています。今回の奨学金をいただき、嬉しく思います。両親の負担を軽減できます。真面目に勉強して一番役に立つようこの奨学金を使うと約束します。(小学3年生)



スペチャヤー ブットペッツさん

5000バーツの奨学金をくださいましたリケンタイランド社様を感謝致します。私にとってこのお金は本当に役に立ちます。このお金は一部の学費を払うために使って両親の負担を軽減できます。中学1年生の試験を合格できるようにしっかり勉強します。卒業できていい仕事をできて両親を面倒し自慢に思っています。両親が私のため、ずっと苦労しましたので、返すために真面目に勉強します。奨学金をくださいましてもう一度、感謝致します。ありがとうございます。(小学生6年生)



ジラコン ルアッカムイーさん

奨学金をくださいます。ありがとうございます。候補者の中から私を選んでいただき本当に感謝しています。いただいた奨学金は、学費・文房具にあてさせていただきます。奨学金表彰式に参加して嬉しくて自慢に思いました。また、これから社会のいい人になります。ありがとうございます。(中学3年生)



RIKEN (THAILAND) CO., LTD. 30周年記念

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. では、2019年7月26日に30周年を迎え、記念の儀式を執り行いました。社員および株主様にもお越しいただき、盛大な儀式を行うことができました。

このような記念式典を行うことが出来たことは、ひとえに株主様はじめ皆様のご支援ならびに、社員各位のたゆまざる努力の賜物と深く感謝申し上げます。

RIKEN (THAILAND) CO., LTD. はまた新たなスタートを切り、売上のさらなる拡大に取り組みます。また今後もお客様にRIKEN (THAILAND) CO., LTD. の高い品質と安全性を信頼してもらえるよう社員一丸となって努力してまいります。今後とも末永くRIKEN (THAILAND) CO., LTD. をご支援いただきたく、お願い申し上げます。



当日朝の30周年記念の儀式の様子



代表株主様のお祝いの儀式

代表メッセージ



リケンテクノス株式会社
理事
PT. RIKEN INDONESIA 取締役社長
小林 和彦

2020年は、2019年にマングローブ植樹のために訪問した村Pantai Bahagia村の環境改善を目的に、トイレ施設の寄付及び学校の修理を行いました。村の子供たちのために文房具やお菓子、マクドナルドのハンバーガーなど、村では入手が困難なお土産と施設周辺に植えるための樹木を持参し、PT. RIKEN INDONESIAの各課代表メンバー27名でPantai Bahagia村を訪れました。

2020年もCSR活動を開催することで、PT. RIKEN INDONESIAのCSRチームは、より広い社会と交流できる機会を得ることができました。そして、Pantai Bahagia村の住民や子供たちと楽しさを共有できました。PT. RIKEN INDONESIAから寄贈したトイレと清潔な水の利用により、住民の方々が健康を維持し、少しでも豊かな生活が出来ることを願っています。

● PT. RIKEN INDONESIAの取り組み

Pantai Bahagia村へのトイレ施設の寄付

昨年マングローブの植樹を行ったPantai Bahagia村の小学校にトイレの寄贈を行いました。Pantai Bahagia村の村民は農業と漁で生活を営んでおり繰り返し洪水に見舞われています。幼い子供たちが通う学校は、小さな部屋が2つあるだけの質素な建物で、トイレや手洗い場などありませんでした。2019年11月30日、トイレ施設完成を記念して贈呈式が行われ、子供たちに文房具やお菓子などをプレゼントしました。



村の子どもたちへプレゼントを寄贈しています



完成したトイレ施設



村の子どもたちとPT. RIKEN INDONESIA のCSRチーム

● 次世代の応援

リケンテクノスは、次世代を応援するため、「夢らぼ」という番組を2015年4月より制作しています。番組で紹介する学生たちは、皆エネルギーに満ち溢れ、高い志を持っています。彼らを突き動かすものは、何なのか？夢を抱くに至ったそのルーツとは何なのか？そこに迫っていきます。

彼らの夢は、まだ道半ばです。試行錯誤を繰り返しながら何とか進んでいく様は、まさに「夢の実験室」。

どんな未来を切り開いていくのか、彼らの活動から目が離せません。リケンテクノスは科学の力のチャレンジメーカーとして、これからも頑張る学生を応援します。



① 夢らぼに出演しての感想

自分の活動はもとより、宇宙医学という分野の存在を多くの方に知っていただくための貴重な機会となりました。出演後には「宇宙ってロケットと衛星だけじゃないんだ」「医学部でも宇宙を目指すんだ」といった感想も多く頂き、夢らぼにて取り上げていただいたことにより、「宇宙開発」をより身近な存在として感じられる方が増えたことに大変感謝しております。さらに個人としても、自分を紹介するインパクトある「動画」が残ったという点は大きく、発信力の高まりに繋がりました。



いしはし たくま
石橋 拓真 さん



② 今の活動、今後の活動



現在はコミュニティの規模も大きく拡大し、コロナ禍に負けず(むしろより一層精力的に)活動しています。例えば「Space Physiology and Medicine翻訳プロジェクト」では、「宇宙医学の教科書をつくる」ことを目指して、アメリカの学術書の翻訳に取り組んでいます。宇宙医学はニッチな分野であるだけに、現在日本語で出版されている入門書は網羅性にやや難がありました。今後の分野としての広がりを考え、「もっと幅広いトピックを詳説した本が欲しい」という学習者としてのニーズから、「自分達で作ってしまおう」と立ち上がったプロジェクトです。誰もが宇宙に行ける時代を医療の面からサポートするために、コミュニティ運営に当たってはこうした「アウトプットを出すことで自らが学ぶ」という姿勢を大切にしています。他にも、内閣府の策定する宇宙基本計画という5か年の計画のパブリックコメントに応募して宇宙医学の立場から政策提言を行ったり、定期的な論文抄読会やウェビナーを開催したりしています。



① 夢らぼに出演しての感想

撮影は、自分の活動を客観視する良い機会となりました。放送を通じて私の活動を知ってくださる方も多く、放送直後に開催された東北大学医学祭では、多くの放送を見た方に「応援しているよ。頑張ってるね。」と声をかけていただきました。頂いた応援を胸に、これから出会う中高生や患者さまそして社会の役に立てるよう、さらに精進して参ります。このような貴重な機会を頂きましたリケンテクノスの皆様、撮影関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



はやし あすみ
林 明澄 さん

② 今の活動、今後の活動

2019年度は福岡から山形まで全国8校の300人の高校生に救急対応や医療現場に関する高校生向け出張授業を届けました。2020年度は、4・5月にCOVID-19に関する中高生向けのオンライン授業を計3回開催しました。この企画では、感染症や医療崩壊、基本再生産数などをテーマに新型コロナウイルスの感染拡大時に自分たちがどう行動すべきかを考えました。



参加した多くの大学生から「初心を思い出し、パワーをもらった」と好評を頂きました。加えて、将来医療者としてどうすれば患者さまに分かりやすく医療情報を伝えられるかを考える貴重な経験となりました。参加者からは、「医療が多くの職種によって成り立っていることを知った。」「COVID-19について専門的な視点で論理的に説明してもらったので、3密を避けることがなぜ必要なのかよくわかった。」という声を頂いています。今後も、全国の中高生に医療や進路選択について伝える企画を行っていきます。将来は、医師としての専門性を高めた後に、教育機関と連携し、多くの方が医療を身近に学べる場を提供したいです。

お二人の活動についてはこちらから www.yume-lab.jp

今までに出演された学生の皆さん

 <p>#105: 東 詩歩 和歌山大学 観光学部 2年</p>	 <p>#106: 小川 嶺 立教大学 経営学部経営学科 4年</p>	 <p>#107: 所山 武士 東京インターハイスクール 3年</p>	 <p>#108: 土居 未奈 高波大学 情報学群情報メディア創成学科 3年</p>
 <p>#109: 秋田 大樹 法政大学 経営学部経営学科 4年</p>	 <p>#110: 中村 優花 法政大学 キャリアデザイン学部 4年</p>	 <p>#111: 山越 遼一 東京大学 文学部西洋史学科 4年</p>	 <p>#112: 平井 亜由美 相模女子大学 栄養科学部管理栄養学科 2年</p>
 <p>#113: 佐藤 大輝 福島大学 共生システム理工学類 4年</p>	 <p>#114: 市川 大成 金沢大学 人間社会学域国際学類 4年</p>	 <p>#115: 瀬戸 敦史 近畿大学 法学部法律科学科 3年</p>	 <p>#116: 洪 英高 同志社大学 経済学部経済学科 4年</p>
 <p>#117: 水口 あすか 東京女子大学 現代教養学部人間科学科 4年</p>	 <p>#118: 林 明澄 東北大学 医学部医学科 5年</p>	 <p>#119: 大野 康晴 東京大学 教養学部学際科学科 3年</p>	 <p>#120: 牧田 陽奈子 洗足学園高等学校 2年</p>
 <p>#121: 石橋 拓真 東京大学 医学部医学科 3年</p>	 <p>#122: 田口 愛 国際基督教大学 教養学部 2年</p>	 <p>#123: 吉田 悠馬 八戸工業大学 第二高等学校 3年</p>	 <p>#124: 石塚 来輝 獨学院大学 人間開発学部初等教育学科 3年</p>
 <p>#125: 村田 七海 和歌山県立医科大学 医学部医学科 3年</p>	 <p>#126: 田中 達也 早稲田大学 総合機械工学専攻 修士2年</p>	 <p>#127: 山口 由人 聖学院中学校 3年</p>	 <p>#128: 増子 彩夏 東京大学 教育学部教育心理学コース 3年</p>
 <p>#129: 新美 陸人 武蔵野大学 付属千代田高等学校 1年</p>	 <p>#130: 井上 拓也 同志社大学 大学院理工学研究科機械工学 修士2年</p>		

RIKEN TECHNOS Presents

— "チャレンジ"する学生の想いに迫る—

夢らぼ

DREAM LABORATORY

番組ナビゲーター 永田 レイナ
夢らぼテーマソング「ゆめいろ」小貫 諒

番組映像は公式HPで配信!
www.yume-lab.jp

毎週土曜 夕方6時55分 放送

BS12 トゥエルビ



“科学の力のチャレンジメーカー”
リケンテクノス株式会社は、
頑張る学生を
応援しています!

制作著作: BS12ch, TwiTV
リケンテクノス株式会社
矢野あづろプロジェクト
制作協力: JFN 札幌局 3rd Class
トビタテ留学JAPAN